

平成23年度『四国サイコーダイガク』について

四国サイコーダイガクは、農林水産物や観光資源など数多くの素晴らしい地域資源が存在する四国の魅力を広く伝えていくため、四国をもう一度考え(再考)、四国をもう一度元気にし(再興)、四国を最も素晴らしい場所にする(最高)という想いを込めて、中小企業基盤整備機構四国支部(中小機構四国)が平成21年5月に創設したものです。

四国サイコーダイガクでは、中小企業者、農林水産業者、支援者による相互学習と補完的な連携活動及び外部からの知識、ノウハウ、アイデアの導入などにより、新たな商品・サービスを開発し、そのプロセスを含めた開発成果を四国内外に広く発信することで、新たなビジネスの創出と地域でのノウハウ構築を図るとともに、四国での地域振興モデルの形成を目指します。

※学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。

【設立】平成21年5月25日

【運営】独立行政法人中小企業基盤整備機構四国支部

【協力】経済産業省四国経済産業局

【活動実績】<平成21年度>

(食学部) 四国うま味だしの開発と商品化、四国スイーツの開発とブランド化

(旅学部) お遍路巡りの新サービスの開発、瀬戸内の島々の活性化させる新サービスの開発

(ものづくり学部) ものづくり企業とアーティストとのコラボによる「アーティスト・イン・ファクトリー」の実施

<平成22年度>

(流通学部) 四国産品を首都圏や全国に流通させる新たなビジネスの開発

(コミュニティビジネス学部) 徳島県美波町の地域資源を活かした地域住民参加型のビジネス開発

(観光学部) 愛媛県久万高原町の観光資源を活用した新サービスの開発

平成23年度開発プロジェクト

伊予市・双海プロジェクト

愛媛県伊予市の地域資源、双海地区の観光資源を活用した新たな観光商品・サービスの開発によるビジネス創出を目指します。

伊予市双海地区(旧双海町)は伊予灘に接する人口約5000人の地域。日本の夕日百選に選ばれ「しずむ夕日が立ちどまる町」をキャッチフレーズとした町おこし等に取り組んできた。平成17年、旧伊予市、旧中山町と合併。



■中間発表会(平成23年10月開催予定)

中間段階で活動状況や検討中のビジネスプランを発表し、外部専門家等からの評価を受け、後半の活動につなげます。

■四国サイコーダイガク祭(平成24年3月開催予定)

ダイガクでの活動内容や最終的なビジネスプランを四国内外に向け幅広く発表、更なる展開のステップとします。



四国
サイコー
ダイガク

詳細ホームページ

検索→

中小機構四国

四国サイコーダイガク

をクリック

中小企業と地域振興を
もっとサポート
中小機構 四国